

おもかげ WebCome!

『魅力ある住みよい明るいまち面影』を目指して 《創刊号》

今回の **1** 枚：芸術をたしなみにいってきました



アップ日 令和7年5月29日 発行：面影地区まちづくり運営協議会総務部

1. 創刊にあたり

この度、より詳しい地域情報の発信のため、2ヶ月に1回、ネット限定の広報誌をお届けすることと致しました。きっかけは3月のとある日の公民館事務室の会話からはじまりました。

D 主任:「4月からは、M 主事さんにおもかげだよりつくってもらおうかな～」

M 主事:「いいですよー。やってみます～」

M 館長:「ガラッと内容かえてみてもいいし、なんなら金賞とれるぐらいな(笑)」

ちょうど職員が読んでいた月刊公民館3月号には、隔年で開催される『全国公民館報コンクール』の結果がのっていて、金賞4館、銀賞2館、特別賞5館、奨励賞6館が選ばれていました。

D 主任:「しかし選ばれているところは、どれも毎月10ページ程の広報誌ですねー。特に金賞の1つの館なんて、毎月460部だけど、年間経費47,000円って(驚)どうやってるんだろ??うちなんて毎月の紙代だけで15,000円、年度末の広報誌も業者に頼んだら10万円超えちゃうし」

M 主事:「毎月10ページもの量をつくるのは、大変だけどどうしてるんですかね?」

D 主任:「公民館職員だけでつくってるところもあるけど、編集委員会をつくってるところが多いね～」

M 館長:「地域の特徴もあまりないし、ちょっと広報がんばってみようか!取材ならバンバン行くし」

D 主任:「やりますかー。ただ、いきなり毎月ページ数を増やすのは大変なので、【おもかげだより】は今までどおりのを毎月だして、年度末の広報誌のような分量で細かな記事を書けるものを隔月くらいでつくるのはどうかな?そして、それをネット限定でだと、紙代もかからないし、普段ネットをさわらない人でも、この機会にネットに挑戦する人が増えるかもしれない。」

M 館長:「2年後の金賞めざそうかー!(笑)」

D 主任&M 主事:「おー!!(笑)」

D 主任:「公民館ではなく、まち運協広報誌になるので館報じゃないし、名前どうしよっか?」

M 主事:「webとcomeをくっつけた Webcome って造語はどうですか?welcomeにも似ているし」

D 主任:「いいねー!それでいこう(笑)」

Web:インターネット上の様々な情報(テキスト・画像・動画など)を関連付け、結びつけるシステムのこと

Come:来る welcome:ようこそ!、いらっしやい!

この3語をあわせて、「ネット広報誌を見に来てくれて、ありがとう!」という気持ちをこめて、

《Webcome!おもかげ》という広報誌の名前としました。

まあ、こんな軽いノリではじめた、広報誌ですので、どれだけ継続できるかわかりませんが、ぜひご愛読ください。

<良い点>

- ・お金がかかりません! 作り手の時間と労力だけです(笑)
- ・フルカラーで、ページ数も制限はありません。目標は、毎号8ページ!
- ・スマホやパソコンがあれば、いつでも誰でもどこからでも、みることができます。

<悪い点>

- ・新しい事業なのに、事業費が減りません(笑)
- ・2ヶ月ごとに館報をつくる感じなので、ネタ集めが大変です。いい話があればドシドシ教えてください。
- ・がんばって作りましたが、どれだけの人目に留まるか心配です。ぜひ、広めてください(願)

2. 面影地区まちづくり運営協議会について

4月21日(月)に令和7年度の総会を行い、令和6年度の事業報告・収支決算報告をし、承認を受けました。そして、令和7年度の事業計画(案)と収支予算(案)についても承認を受けましたので、今年度の事業をスタートすることができます。事業については、今年度から5つの部会(総務部、環境美化部、人権防災安全部、健康福祉部、生涯学習部)ごとに内容を考えていただき、総会では各部長に計画案を説明していただきました。

また、組織の見直しをおこなっていたため、会則も変更し、新たな役員で新年度を進めることとなりました。

☆会長就任のご挨拶

竹間 洋 (ちくま ひろし)



この度、面影地区まちづくり運営協議会の会長に就任いたしました竹間でございます。まず初めに、これまで協議会の発展に寄与してこられた前任者の皆様、そして協議会の活動を支えてくださるすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

私たちの地域は豊かな自然と文化、そして温かい人々に恵まれています。この素晴らしい資源を守りながら発展させていき、より良いまちづくりを実現することが私たちの使命であると考えております。協議会の活動を通じて、地域の皆様の声に耳を傾けながら、共に未来を創造してまいりたいと思います。

まちづくりは一人ではなく、皆様の力を合わせることで実現するものです。地域の課題に対して共に考え、行動し、解決していくための場として、面影地区まちづくり運営協議会が皆様にとってより身近で頼りがいのある存在となるよう努めてまいります。また、新しいアイデアや取り組みにも積極的に挑戦し、地域の魅力をさらに高めていきたいと考えております。

最後に、これからも協議会の活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様と共に「魅力ある住みよい明るいまち面影」を目指し、努力を重ねてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

☆今年度の事業について

Ⅰ 総務部事業計画

活動スローガン: 地域文化の振興と地域コミュニティの充実したまちづくり

(1) 地域文化の振興と伝承

文化は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらして人生を豊かにするとともに、創造性をはぐくむものである。地域文化の振興に当たっては、住民がその居住する地域にかかわらず等しく文化芸術を鑑賞できる機会が得られるとともに、文化芸術活動に主体的に参加し、文化芸術を創造していく機会を拡充することが重要である。

①地区文化祭の開催(10月18日・19日予定) 予算 300,000 円

②文化芸術を鑑賞できる機会の確保

鳥取県立美術館・三朝バイオリン美術館へおでかけ(5月17日)

予算 300,000 円 参加費収入 100,000 円 <バス助成金活用>

③地域文化の伝承 面影音頭の練習会

(2) 地域コミュニティの充実と強化

地域コミュニティは、人間性を回復して、自律型の地域社会をつくる基盤であり、人々のニーズを地域情報化することで、参加型の持続可能な開発につながるともされる。

しかし近年、地域コミュニティが希薄となっており、改めてまちづくりの主役は地域住民であるという認識のもと、地域コミュニティの充実と強化を図る。

①地域情報発信 予算 150,000円

- ・おもかげだよりの発行（毎月）
- ・ネット広報誌のアップ（隔月6回）
- ・ホームページの更新
- ・インスタグラムでの発信

(3) その他計画内に関する事業 予算 30,000 円

※予算合計 780,000円 参加費収入 100,000円

2 環境美化部事業計画

活動スローガン: 住みよい環境づくりと面影山の自然・歴史を活かしたまちづくり

(1) 住みよい環境づくり

よりよく地域の魅力を高めるためには、それらを取り巻く環境を考えることも欠かせない。極力ゴミは出さない、省エネルギーに努めるといった個人でできることから、地域の緑化やインフラの整備といった組織で取り組むことまで、多種多様である。

①環境美化活動

- ・面影山の整備（山頂樹木の部分伐採、遊歩道整備、草刈り） 予算 100,000 円
- ・公民館の整備（周辺整備、大掃除、ゴミ処理） 予算 40,000 円

(2) 面影山の自然と歴史を活かしたまちづくり

まちにはどんな魅力があるか？そして、どんな課題があるか？まちづくりは、この疑問を持つことから始まり、そしてまちにある宝（地域資源）探しから始めます。

面影地区でその宝となり得るのが「面影山」であり、この宝を消失させることなく、保全・継承していくことが重要であり、まちづくりの様々な活動に活かしていく。

①面影山ウォークの開催 予算 30,000 円

(3) その他計画内に関する事業 予算 30,000 円

※予算合計 200,000円

※今年度、面影山の環境整備と資源を活かした事業実施のため、県助成金（とっとり県民参加の森づくり推進事業）申請をします。これは、企画に対する審査で決まりますので、承認を願う！！

3 人権防災安全部事業計画

活動スローガン: 人権に配慮した安心・安全なまちづくり

(1) 人権に配慮したまちづくり

さまざまな人権問題に幅広く対応し、人権尊重の視点が反映されるよう、人権啓発活動を推進する。
また、健康で文化的な生活の実現に向けての生活環境改善や教育分野での残された課題の解決に向け、地域の状況や事業の必要性の的確な把握に努め、事業を実施する。

①人権防災県外視察研修(人推協・自主防と共催) 11月頃岡山方面で計画中

予算 200,000 円 参加費収入 100,000 円

(2) 安全で安心して暮らせるまちづくり 予算 50,000円

安全を脅かす要因による被害を最小限に抑えるためには、発生抑止や被害防止等の事前対策に加え、発生後の応急対応や被害軽減、復旧復興等の事後対策も含めた総合的な対策が必要である。したがって、リスクに対して、事前および事後対策の両方がなされている状態が安全であるといえる。

①安全・安心啓発講演会の開催

②青パト乗務員確保対策事業

(3) 防災対策の充実 予算 100,000円

「自助」、「共助」、「公助」のうち、私たち自身にできるのは「自助」と「共助」です。一人ひとりが、「自分の身は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えを持ち、日ごろから災害に備えておくことが重要です。

①防災フェスタの開催(11月15日開催予定)

②防災資機材の整備

(4) その他計画内に関する事業 予算 50,000 円

※予算合計 400,000円 参加費収入 100,000円

4 健康福祉部事業計画

活動スローガン: 生涯スポーツの推奨と地域福祉の充実したまちづくり

(1) 生涯スポーツの推奨

生涯スポーツとは、身近な生活の場にスポーツを取り入れることである。老若男女誰でもスポーツに楽しみを求め、健康づくりや社交の場としてスポーツを行うことが広く普及されている。

①町内会おでかけスタンプラリーの開催 6月7日(土) 予算 100,000円

②グラウンドゴルフ大会の開催 6月21日(土)、10月11日(土) 予算 50,000円

③ニュースポーツ体験、e-スポーツ体験 予算 30,000円

(2) 地域福祉の充実 予算 40,000円

地域福祉は、一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせることが目標であり、一人ひとりが自立した生活を送るための支援は、地域住民も含めた地域全体での支えあいの活動なくして、包括的に支援することはできないので、地域住民自らも自分たちでできることは積極的に動き、支えあっていく、福祉のコミュニティづくりが求められている。

①敬老対象者への感謝

(3) 健康の維持・増進 予算 50,000円

社会的なつながりを持つことは、精神的健康、身体的健康、生活習慣、死亡リスク等により影響を与えることが分かっている。また、地域とのつながりが豊かな人は、様々な人々と交流する機会や社会活動に参加する等のきっかけがあることから、健康状態がよいとされている。

①健康講演会の開催

②健康マージャン大会の実施

(4) その他計画内に関する事業 予算 30,000円

※予算合計 300,000円

5 生涯学習部事業計画

活動スローガン: 子どもから高齢者までが学び・つながるまちづくり

(1) 生涯学習の推進

生涯学習の目的はより豊かな人生を送ることであり、自分に合ったものを選択することが大切です。一生涯のなかで「いつでも」「どこでも」「自由に」学習機会を選択し、学ぶことができるため、生涯学習と呼ばれており、生きがいや人脈の形成、視野が広がり人格が磨かれるなど様々なメリットがある。

①教養講座の開設 20講座

- ・華道池坊 ・郷土史 ・囲碁 ・漢字書道 ・どんぐりの会 ・コーラス ・塩釜手話サークル
- ・ピンポン教室 ・太極拳 ・自彊術 ・3B 体操 ・手話(午前、夜) ・かな書道
- ・ストレッチ教室 ・パッチワーク ・小原流いけばな ・俳句 ・川柳 ・テニス

②地域の仲間づくり事業(大人) 年8回程度 予算 100,000円 参加費 70,000円
ものづくり、料理教室、園芸教室、ワイン講習 等

(2) 青少年の健全育成

青少年が自主性・社会性や正義感・倫理観を持った豊かな人間性を育むため、多様な体験活動を経験できる体制の整備や青少年を取り巻く有害情報に関する問題性や注意事項についての啓発、地域における子どもの読書活動や居場所づくり等を通して、青少年の心と体への健全な発展を促す。

①いきいきおもかげっ子ひろば事業(子ども) 年8回程度 予算 60,000円 参加費 30,000円
ものづくり、おはなしの会、クリスマス会、ひなまつり 等

②夏休みおでかけ教室 予算 110,000円 参加費 50,000円

③やってみようで一事業 予算 30,000円

④子育て支援事業 予算 20,000円

(3) 世代間の交流

世代間交流とは、主に高齢者と子どもといった世代を超えた交流を指すが、それだけに限らず、学生と社会人などの世代を超えた交流も世代間交流と言える。子どもや学生たちにもまちづくりへの参画を促し、地域への愛着をもち、住み続けたいと思うまちを一緒に考える。

- ①地区夏祭りの開催 8月2日(土) 予算 200,000円(区長会・青少協と共催)
- ②子どもと大人のふれあい事業 予算 50,000円
もちつき、昔遊び、地域の郷土料理(ちまき、おいり) 等
- ③学生との交流 予算 20,000円

(4) 高齢者のいきがい事業

地域社会は、高齢者の日常的な人づきあいや社会参加が営まれる場であり、高齢者個々人に適した多様な社会参加、人や地域との関わり方を可能にする柔軟な地域のあり方を検討する。

- ①スマホ・パソコン教室 年8回程度 予算 10,000円

※予算合計 600,000円 参加費収入 150,000円

このように、今年度の事業を部会ごとに計画をたてていただき、事業費総予算は**228万円**となりました。

☆今年度の役員紹介

今年度のまちづくり運営協議会の委員総数は64名で、その中から次の方たちに役員をお願いしました。

役 職	氏 名	備 考
会 長	竹間 洋	
副会長	栗岡 克行	
	小崎 宏	
理 事	稲田 宗万	自治会長
	足利 宜則	区長会長
	魚寄 喬	総務部長
	大西 孝雄	環境美化部長
	井関 顕人	人権防災安全部長
	岡本 健二	健康福祉部長
	若松 博康	生涯学習部長
事務局長	森本 美也子	公民館長
会 計	土手口 哲士	公民館主任
監 事	須崎 宏喜	
	内藤 毅	

☆ 4・5月の実施事業

＊たのしく歩こうで～ 4月30日(水) 生涯学習部事業

鳥取市の体験的学習活動等休業日(やってみよう!デー)で市内の小中学生は30日、1日、2日がお休みでしたので、それにあわせて事業を計画しました。内容は、ウォーキングですがやってみよう!の名前のとおり、挑戦的な距離10キロとしました。面影地区公民館から美敷の水源地までがちょうど距離もピッタリ、歩道もしっかりしていたので、そこに決定しました。ただ3月から計画して、募集をかけていましたが、小学生の応募が少ないwww。なぜだろうと思ったら、なんと小学校の遠足が28日で全校生が樗谿神社まで歩いて行く、とのこと。これはミスったと思いますが、後の祭り。小学生の参加は、4人(泣)ただ、中学生が13人も参加してくれたのでよかったです。当日は、気温が26℃まで上がる予報で心配しましたが、いい風が吹いていて、さほど暑さを感じず歩くことができました。お昼には、婦人会の方がつくってくれたおにぎり弁当と自治会から差し入れのアイスクリームをいただきました。帰りは少しペースもあがり、予定より早く無事帰りつきました。



＊芸術をたしなみに行こう 5月17日(土) 総務部事業

総務部では、地域の方が芸術に触れる機会をつくろうと今回の事業を計画しました。オープンしたての鳥取県立美術館と三朝バイオリン美術館での音楽鑑賞という内容でした。県美の最初の企画展会期とコンサートの日を調整したらこの日しかなく、おでかけでは珍しい土曜日実施となりました。申し込み初日に一斉に電話がなり、すぐに定員になるかと思ったら、パタッと止まり結局20名の参加となりました。後々話を聞くと、町内会とかで計画をたてているところが多く、バスの運転手さんは毎日のように県美にいらっているそうです(笑)

当日、県美でガイドをお願いしたかったのですが今年はないそうでwww 各自でみてもらいました。昼食には、町屋清水庵で白壁おこわ膳をいただき、午後はアフタヌーンコンサートで子どもの可愛い演奏とクラリネットとピアノの本格的な演奏をたのしみました。

※写真は、1ページめに掲載してるので、割愛します。

3. これなあに??

3月終わりに、いきなり面影地区公民館の入口横におっきなタンクが置かれましたが、これは何ですか??

<自治会長で自主防災会長の稲田さんにお聞きました>

これは、容量1000リットルある『**雨水貯留タンク**』です!!

鳥取県がすすめる治水事業の一環として、家庭や事業所から排水される雨水を極力少なくするという実証のため、設置されたものです。

大雨による災害が多発する今日、こうした取り組みを家庭や地域に普及するという目的のものです。溜まった雨水は蛇口から花壇などの水やりに利用できますし、災害時のトイレ用水などにも活用でき、大変有益なものです。

これまで大路川流域をモデル地区として進めてきているので、同様のタンクが美保南地区公民館、美保南小学校やなごみ苑などにも設置されています。

みなさんのご家庭や集会所などにも設置をご検討ください。



4. おわりに

さて、今回からはじめた広報誌?の内容はいかがでしたでしょうか?

話し言葉風から、堅苦しい内容まで様々で、まとまりがなく申し訳ございません。今後だんだんと形ができあがっていくと思いますので、温かい目で読んでやってください。お願いいたします。

次号からは、事業報告を中心に様々な連載物を予定しておりますので、是非またご覧ください。

※最初のページ以外の写真は、イラスト風に加工作して使用しています。

※第2号は、**7月30日(水)**にアップ予定です。